

まちづくり交付金 フォローアップ報告書  
宇都宮東地区

平成20年5月

栃木県宇都宮市

フォローアップ状況

様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	人口定着	人	13,000	17,000	17,000	確定 見込み ●	○	あり なし	— —	17,000	平成20年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標2	市立図書館貸出冊数	冊	680,000	1,750,000	1,430,000	確定 見込み ●	×	あり なし ●	— ●	1,430,000	平成20年5月	×	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標3	河川氾濫による浸水状況	戸	43	0	0	確定 見込み ●	○	あり なし	— —	0	平成20年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標4						確定 見込み		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし					<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	事後評価より達成度が低い場合		備考 (仮に確定値が出せない場合の理由等)	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	地域コミュニティの向上(コミュニティセンター利用者数)	人	7,500	/	8,700	確定 見込み ●	/	/	/	8,700	平成20年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2	公園を利用したイベントの参加人数	人	200	/	1,200	確定 見込み ●	/	/	/				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/	/				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1から転記

様式1-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	コミュニティづくり	多くの地域交流が促進できるようにコミュニティセンターの施設用地の拡大を図った。	コミュニティセンターの規模(空間)が拡大され、サークル活動などの打合せ場所や、学童保育の場所が確保されたことにより、子供が安全で安心して遊び学べる環境の提供や、住民間の交流の回数が増えた。	子供たちが安全で安心な場所が維持できるように、コミュニティセンター等の維持管理に努める。
	公園・緑地の継続的な維持管理体制づくり	地域住民とのワークショップにより、愛される公園づくりを行い、樹木の里親制度や公園愛護会の設立を働きかけた。	・新たに1つの公園において愛護会が設立された。 ・ワークショップについて ①実施頻度【8箇所、計10回】 ②実施時期【平成17年2月～平成18年11月】 ③実施効果:地域の住民に公園づくりに対する理解が深まり、公園利用が促進された。	今後も引き続き、公園愛護会の設立に向け働きかけていく。
	学校周辺の安全性の向上	道路等の公共施設整備後、地区内の城東小学校や地元自治会への学校通学路の安全確保のため、朝夕の登下校時に安全パトロールの必要性を働きかけた。	城東小学校教職員やPTA及び地元自治会によるボランティアにより安全パトロールが実施された。	区域内全ての通学路について、年間を通じて継続されるよう引き続き働きかけていく。
	防災対策	近隣公園において、地域住民と地元消防署が協力して消火訓練などを行った。	災害時に必要な情報を共有し、防災意識の向上が図られた。	今後も地域内での情報共有を図ると共に、防災意識の向上に努めていく。
改善策				
・まちづくりの目標を達成するための改善策				
・残された課題・新たな課題への対応策				
・その他 必要な改善策				

様式1-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
		○年○月	
		○年○月	
		○年○月	
		○年○月	

# 都市再生整備計画(精算報告)

うつのみやひがしちく  
宇都宮東地区

とちぎけん うつのみやし  
栃木県 宇都宮市

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市	地区名	宇都宮東地区	面積	246 ha
計画期間	平成16年度～平成19年度			交付期間	平成16年度～平成19年度		

### 目標

#### 大目標：広域都市圏の拠点都市としてふさわしい魅力ある地域づくり

目標1：街路等の整備改善による利便性・安全性に優れた魅力ある住居空間の創出

目標2：市街地として十分な公共施設を整備することによる防災機能の充実

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

・本地区は、JR宇都宮駅に隣接し市街地の形成する上で高いポテンシャルを有する地区であり、現在までに駅東地区・駅東第二地区等土地区画整理事業による面的整備が実施され、市街地として完成されつつあるものの、いまだに土地区画整理事業が完成されていない区域については、公共施設の整備が著しく遅れているところへ加えて無秩序な宅地化が進行している状況である。

・宇都宮マスタープランにおいて、本地区は機能的な都市基盤や安全で快適な生活環境の整備を基本とした、都心居住地区としての良好な住宅地の整備をすることが位置づけられている。

・地区住民で構成された、まちづくり協議会等の組織により、地区の問題である河川の溢水を含めたまちづくりの勉強会及び説明会を経ながら事業認可を得た経緯がある。

・都市計画道路(今泉川田線)はJR宇都宮駅東地区内を南北に縦断する重要な都市内幹線道路であり、その一部は都心環状線として位置付けられ、昭和47年に都市計画が決定された道路である。また、整備にあたっては駅東地区(昭和43年)から着工し組合施行(平松本町第2地区)を含めた5地区で整備を進め、平成16年3月3日に城東地区内の整備が完了し全線(L=3, 100m)が開通となった。また、この完成により都市計画道路の整備と整合の取れた区画道路や公園の整備が進めば、周辺道路の渋滞解消や人、車の流れが活発化し、駅東地区の更なる発展が期待される。

・本地区は昭和54年度に駅東地区、平成7年度に駅東第2地区が施行完了であり、現在、昭和62年度より駅東第3地区、平成7年度より城東地区が施行中である。また地区の骨格となる都市計画道路の基盤整備が完了した中で、区画道路や公園等の整備が遅れている状況の中、都市計画道路との一体的な整備が求められている。

#### 課題

地区を侵食する形での無秩序な市街化が進んでいる状況であり、計画的に良好な都市基盤整備が求められている。

・地区北東側については、普通河川をはじめとする公共施設の整備が遅れた場合、住宅地が密集している地区であり狭小道路や行き止まり道路があることから、河川の氾濫等による防災機能面からも問題が多い。

・地区の中央に位置する城東小学校に通学する学童の安全を確保するため、学校東側の南北に縦断する区画道路の整備が急務となる。

#### 将来ビジョン(中長期)

安全で快適なまちづくりの実現

・宇都宮市第4次総合計画において、安全性の高い都市空間を整備することにより、災害に強い都市をつくることを目指している。

・本地区内の土地区画整理事業未完成の地区の整備を積極的に推進すると共に、土地区画整理事業の進捗に併せて近隣公園・街区公園を整備することにより、安全で快適な住環境を整え、定住人口の拡大を図る。

・また、都市計画道路の整備に伴って生活道路から補助幹線道路、補助幹線道路から幹線道路といった段階的な道路の役割が確立でき、歩道が整備されることにより歩行者の安全性・利便性を確保する。更に、日常的にみられる交通渋滞を緩和し、環境面を含めた総合的な費用対効果の向上を図る。

### 目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
a 人口定着	人	出典「宇都宮市統計資料」	利便性・安全性に優れた環境整備による定住人口の増加	13,000	H4	17,000	H19
b 市立図書館貸出冊数	冊	出典「宇都宮市統計資料」	利便性・安全性に優れた環境整備による貸出総数の増加	680,000	H6	1,750,000	H19
c 河川氾濫による浸水状況	戸	出典「宇都宮市河川課統計資料」	防災機能に優れた環境整備による床上、床下浸水の減少	43	H3	0	H19
d							
e							

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(魅力ある居住地の創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR宇都宮駅の機能を最大限生かすため、駅東地区及びその周辺において都市基盤施設の整備をすることにより人口定着を促進する。</li> <li>・地区内を通過する都市計画道路3・3・5宇都宮陸羽線、3・3・106今泉川田線やそれに接続する区画道路の歩道部分及び歩行者専用道路の高質化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保する。</li> <li>・ワークショップによる官民協働の公園計画を推進する。</li> </ul>	<p>&lt;土地区画整理事業&gt;</p> <p>&lt;公園&gt;</p>
<p>整備方針2(防災に強いまちづくりの形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進するため、普通河川奈坪川を整備することにより、災害に対する安全性を高める。</li> </ul>	<p>&lt;土地区画整理事業&gt;</p>
<p><b>その他</b></p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>公園、街路樹網の整備後については、整備に関するワークショップ参加者や自治会、育成会及び子供会等既存の組織を核として、公園愛護会・樹木の里親への移行を働きかけ、活動組織の体制づくりを進めるとともに、維持管理に必要な物品の提供、維持管理リーフレットによる啓蒙活動、管理・活動アドバイザー派遣等を導入するなどして、更なる公共施設の愛護精神の高揚を図り、地域住民を主体とした継続的なまちづくりを支援する。</p>	

